

平成 28 年度第 2 回大阪府地方独立行政法人 大阪府立環境農林水産総合研究所評価委員会

議事要旨

- 1 日時 平成 28 年 7 月 29 日（金）午後 3 時～
- 2 場所 大阪赤十字会館 401 会議室
- 3 出席委員 原島委員長、近藤委員、芝原委員、水谷委員、渡辺委員
菊井専門委員、喜田専門委員、山田専門委員

4 議事内容

（1）平成 27 事業年度に係る業務の実績に関する評価について

- ・法人から、資料 1、2 に基づき、平成 27 事業年度の業務実績について報告が行われた後、質疑応答、小項目評価についての審議が行われた。

<主な意見>

- ・「大阪産（もん）6 次産業化サポートセンター」の受託により支援した商品等の普及や成果について検証するとともに、引き続き農林漁業者と食品産業事業者のマッチングの機会創出に努められたい。
- ・「おおさかエコテック」により支援した環境技術・製品についての普及や成果について、検証されたい。
- ・農業の担い手を育成するためには、農業大学校卒業後の支援も大切であると考えられるため、農業関連の就職者について引き続きフォローされたい。
- ・府民に農業を身近に感じてもらうため、現在は施設見学や施設開放のイベントなどを実施しているが、さらなる取組の検討を進められたい。
- ・動画機能の追加や写真を多数掲載することにより、情報発信の充実が図られているが、研究成果や取組みのさらなる発信に努められたい。
- ・環境農林水産分野における調査研究をリードし、法人の存在感を高めるためには、学術論文及び学会等発表件数についての数値目標をクリアするだけでなく、個々の研究員が常に挑戦的な意欲をもち、筆頭著者として主体的に論文投稿を行うほか、評価の高いジャーナルへも挑戦するなど一層の努力を求めたい。
- ・食品残さや廃棄農産物の活用に関する研究等、資源循環型農業の実践に向けた取組を検討されたい。
- ・技術支援を質的に向上していくためには、高いレベルの試験研究を目指す不断の努力が必要である。競争的資金への応募は単に研究資金の獲得のみならず、試験研究の評価を受ける絶好のチャンスである。応募件数は第 1 期中期目標期間を通して数値目標をクリアしているが、今後は、研究機関として、環境農林水産分野

における調査研究をリードし、第2期中期目標に掲げられた『事業者・行政・地域社会に対して存在感のある研究所』を実現するため、個々の研究員が常に挑戦的な意欲をもち、競争的資金へも積極的に応募していくなど一層の努力を求めたい。

- ・今後もコスト意識を高め、さらなる財務内容の改善を図り、経費の効率的な執行に努められたい。

(2) 第1期中期目標に係る業務の実績に関する評価について

- ・法人から、資料3に基づき、第1期中期目標に係る業務の実績について報告が行われた後、質疑応答及び審議が行われた。

<主な意見>

- ・引き続き、環境、農林水産業及び食品産業に関する調査及び試験研究並びにこれらの成果の活用等を行うとともに、より多くの府民に還元するよう、さらなる情報発信の充実を図られたい。
- ・研究力の向上及び研究資金の獲得のため、個々の研究員が常に挑戦的な意欲を持って、学術論文及び学会等発表に取組み、競争的資金へも積極的に応募するなど、一層の努力を求める。

(3) その他

- ・特になし

以上